

令和2年10月15日

(一社)福井県電業協会 銅資源回収事業実施

# 不要銅線を回収し社協へ寄付

## 福井県電業協会 毎年の社会貢献

第 23 回

福井県電業協会（伊藤 仁一郎会長）は15日、会員企業において、不要となった銅線を回収し、収益金を浄財に換える、毎年恒例の社会貢献活動を展開した。ことしで、23回目を迎えた。

の公益事業として集め、電線メーカー（矢崎エナジーシステム）に売却。その収益金を、年度末に、福井県社会福祉協議会へ寄付している。

ことしも、回収場所は福井市御幸3丁目、西川電業の作業場を活用した。早朝から、会員企業のトラックが次々と来場。持ち込まれた不要銅線を、今度は、大物をボックスパレットへ。小物はフレコン袋へと詰め込んだ。それを、メーカー用意の大型トラックに移し替える一連の作業。会員たちが手際よく進めた。

協会の公益事業委員長を務める西村綾仁氏（土牧電機社長）は、「銅線の切れ端や、撤去した銅線も含め、合わせれば貴重な資源となる。地道な活動でも、再生の収益金を寄付し、会員のコミュニケーションも促進できる」と、事業の役割や重要性を強調した。

田謙次氏も、他県に例を見ない尊い事業に、改めて敬意を表していた。



不要銅線を、荷台から次々と回収ボックスへ移し替える会員ら＝西川電業の作業場

2020年10月16日(金)  
(建設工業新聞より)